

みみちゃん通信 NO.7 岐聖大ふぞく幼稚園 発行

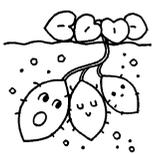
天高く、涼風が心地よい季節になりました。読書の秋、スポーツの秋、実りの秋、行楽の秋などと言われるように、秋は何事にも活動的になれる時です。暑くもなく、寒くもない過ごしやすい時期ですので、お子さんと一緒に体を動かしながら、いろいろなことにチャレンジしてみられてはいかがでしょう。

これから幼稚園では芋掘りやどんぐり拾い、金華山登山など園外に出て秋の自然にふれる機会が多くあります。子ども達と存分に秋を満喫したいと思っています。



畑で野菜作りをしています

プールの南側に大きな畑があり、5月に子ども達が植えたサツマイモの苗が緑の葉っぱを茂らせ、つるもどんどんのびています。さて、土の中ではお芋がどのくらい大きくなっているのか楽しみです。



もうすぐ全園児が芋掘り体験をする予定で、つるを引っ張り、土を掘りながら子どもたちの手で収穫をします。収穫したお芋は、園庭で焼きいもパーティをするのも恒例の行事になっています。

芝生の一番東側の畑には、年少さんが種を蒔いたダイコンとカブが柔らかな葉っぱを茂らせています。時々、間引いてはお浸しにして給食で食べたり、うさぎさんにもお裾分けしています。堀沿いの南側の畑には、年中さんがジャガイモの種芋を植え、丈夫そうな茎や葉が伸びてきました。ダイコン、カブ、ジャガイモが土の中でぐんぐん成長し、収穫できる日が待ち遠しいです。

絵本を楽しみましょう!

絵本を楽しむということは、絵本の中にかいてあることを知識として知るのではなく、体験をすることです。子どもたちは大好きな遊具に繰り返し乗りたがるように、絵本も何回も繰り返し聞きたがります。そうしてだんだんとたっぷり楽しめるようになるのです。こうした体験がやがて生きる力や豊かな感受性を育てていきます。ぜひ、お子さんをお膝の上に乗せて、寝る前にお布団の中で絵本を読んであげてください。



<おすすめの絵本>

「おおきなかぶ」再話/A.トルストイ・訳/内田莉紗子

おじいさん、おばあさん、まご、いぬ、ねこ、ねずみが次々と現れて、かぶを引っ張ります。そのたびに繰り返される「うんとこしょ！どっこいしょ！」のかけ声が子どもたちは大好きです。

「エンとケラとブン」作・絵/いわむらかずお

泣き虫のエンと笑いんぼのケラ、怒りんぼのブンは、ひろくんの心の中にすんでいます。この絵本を通して自分の気持ちを表現することや相手の思いに気付くことができるようになるといいですね。

「ぐりとぐら」作/中川李枝子・絵/大村百合子

青と赤のトンがり帽子とつなぎがトレードマークの「ぐり」と「ぐら」。ふたりは野ねずみのふたごです。ある日、道で見つけた大きな卵を使って食べきれないくらいのカステラづくりに挑戦します。